令和４年度　第４回松元支所管内の振興に係る地域懇話会概要

日　　時	令和5年2月21日（火）　18時30分～19時30分
場　　所	松元支所
出 席 者	地域懇話会委員、地域活性化アドバイザー、事務局
会 次 第	○協議事項 ①地域と共に創るまちづくりプラン（仮称）（案）について ②令和5年度以降の事業推進について
主な意見等	・地域と共に創るまちづくりプラン（仮称）（案）について 【各委員等からの意見】 ○平野岡体育館で行われたＴリーグ公式戦において、お茶の振舞いを行った。もっとPRの仕方・歓迎の仕方を考えたいと感じた。10月の国体では、選手だけにでもお土産としてお茶を準備できないかと思っている。 ○鹿児島市茶業振興会という団体名だが、お茶の生産をしているのが、市内では松元だけである。ただ、イベントに行っても松元を知られていないので、松元をもっと知ってもらって良い所なんだよと実感してもらえるように皆さんにも協力してもらいたい。 ○計画としてはよく練られていて、いいと思う。他のプランと比べたときに、松元には分かりやすい拠点となる場所がないので、アピール力が必要だと思う。 ○懇話会も4回目となるが、地域の代表の人たちの意見を述べる機会を与えてもらい、それを行政の方たちに試行錯誤してもらった。今までどちらかと言うと、行政がこういうことをするので参加してくださいというイベントが多かったが、この1年を使って、この地域を良くしていこうという姿勢がすごく感じられ、自分たちの他愛のない意見も聞いてもらって、市の方向性が今までと違うと思っている。最初に話があったように、地域の方たちが主体となっていいものを作っていければ、行政の方たちの苦労も実が結ぶのかなという期待もある。ただし、今後は本当にそれをやろうとするときに、自分たち自身にもチャンスもありやりがいもある反面、責任も重大だなと感じている。 ・令和5年度以降の事業推進について 【各委員等からの意見】 ○実行委員の中に、後何人か商工会を代表するような方たちに参加してもらって、意見を聞くというのどうか。 ○商工会としては、各々経営状態が違う。建築の方々はいろいろと協力してもらえると思うが、一般的に商売をされている方は厳しい面もあると思う。理事は13人いるので、その方々は声をかければ取組んでいただける。 ○町田久成の活動は、石谷校区まちづくり協議会が学校も含めて、この1年の話し合いの中で独自に動き出したと聞いている。いいものにしてもらいたい。 ○まちづくり協議会として、それぞれ部会がある。こういうイベントをするときに、どこかの部に依頼をしないといけないが、役員会を開いて仕事をお願いするときに、どうお願いしたらいいか悩んでいる。 ○町田久成の活動について、石谷校区まちづくり協議会では次のプランに盛り込み、部会とは別枠で一つ組織を作ろうとしている。まちづくり協議会が中心となって活動をするときに、総会開催が多い4月頃にはプランの概要版があれば、総会で説明がしやすいと思う。 ○ぐるっとかごしまスタンプラリーが今年で終わったが、松元地域だけでやれないかと思っている。松元地域全体のスタンプラリー的なものをやれたら、また10年ぐらい続けられる。景品も必要であれば、商工会が準備する。 ○小寺アドバイザーはどのような位置づけとなるのか。 →実務はやりたいと思っている。皆さんと一緒に中に入って、第三者の立場から自分の経験をお伝えしたい。

	【議長】 ●実行委員会について、ご了承いただければ、今後の設置に向けた業務にとりかかりたいと考えているがよろしいか →異議なし ・その他 【地域活性化アドバイザー】 〇いいものを作ったとしても、知ってもらわないと無いものと同じで、どうやって外に広げていくか、知ってもらうのかということがすごく大事である。お金がかかる部分と無料で自分たちでもできる部分があるので、考えながらやっていかないといけない。 〇みんなが自分も含めてやろうという気持ちがすごく大事である。もちろん成功を望んで目指していくが、仮に結果的に上手くいかなかったとしても、悪いとは思わない。やり続けることが大事だと思うので、どうやったら上手くいくのか、成功に導けるのか色々と考えていくことが大事である。せっかく楽しいことを皆さんで創造してやるということなので、楽しみながらやっていただきたい。 〇事業で大事なこととして、ヒト・モノ・カネといって、全部大事ではあるが、一番大事なものはヒトだと思っている。ここにいる皆さんも含めて、人材はすごく大事だし、その人材から繋がるコミュニティがすごく大事だと思うので、自分自身が一つのピースであるということを自覚していただいて、取り組んでいただきたい。